

令和4年度

# 浦庄小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「聴く・話す・学び合う」力を定着させることによって、主体的に学習する児童を育成する。

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	教頭
		教務主任・高学年	(6年)
		研修主任・中学年	(4年)
		低学年	(1年)

校長

### 【小中連携または中高連携における共通の取組】

系統的に「聴く・話す・学び合う」授業を行い、公開授業においてその取組を確認し合う。

### 【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○言語に対する知識・理解や四則計算の力が定着しつつある ●上学年に進むに従って、学力の差が広がる傾向があり、文章の内容を正確に把握する力に課題が残る児童がいる。	・漢字の読み書きや四則計算などの基礎的・基本的な学力が確実に身に付いている。 ・身に付けた知識や技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・授業の目標「めあて」を明確にし、めあてに沿った振り返りを充実させる。 ・ICTの活用や児童用タブレットの有効な活用を研究し、分かりやすい授業を展開する。 ・eライブラリなどを活用して個に応じた支援を行い、基礎的な学力の向上を図る。	・振り返りの仕方を引き続き研究し、教科や学年に応じた振り返りをする。 ・児童用タブレットの効果的な活用方法を情報交換し授業に生かす。 ・宿題や朝学で、前学年の漢字や計算の反復練習をする。		

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中まじめに学習に取り組み、自分の考えを発表したり、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる児童が多い。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて話したり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。	・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現することができる。 ・自分の考えと友達の考えを比べながら聞き、自分の思いや考えを明確にしたり深めたりすることができる。	・ペアやグループ学習の機会を設定したり、ワークシートや思考ツールを活用したりし、学び合う授業について研究・実践する。 ・日記や作文、ノート指導、新聞活用などを通して、自分の考えを書く機会を増やす。 ・読書活動とともに読書の記録を充実させ、長文読解に慣れさせる。	・ペアやグループ学習の前に個人で考える時間をしっかりと確保する。 ・様々な場面や条件に即して自分の考えを書く活動を積み重ねる。 ・県学力向上確認プリントを活用し思考力や表現力をつけていく。		

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にきちんと取り組むことができる児童が多い。 ●自ら自分に合った課題を見つけ、主体的に学習ができる児童は少ない。	・課題解決に向けて各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習を振り返り、新たな課題を見つけることができる。	・発達段階に応じた発表の仕方(浦庄スタイル)を継続し、学び合う授業ができるようにする。 ・児童の意識の流れに沿っためあてを提示し、発問を工夫することにより児童の多様な考えを引き出す。 ・自主勉強の手引きやよい見本を示し、内容の充実を図る。	・浦庄スタイルを継続しながら、学び合うための土台や雰囲気づくりをする。 ・自主学习コーナーを設けたり、他学年の実践を参考にしたりして取組を充実させる。		

## 令和4年度 学力向上ロードマップ



